

写真は築上町のシンボル「本庄の大楠」の根です。この部分の根の直径を測ると三十cm以上あります。

町では平成二十一年度から文化庁と福岡県の補助を受けて本庄の大楠の樹勢回復事業を行っています。大楠は樹齢がおよそ一九〇〇年以上になり、その間に周辺の環境が大きく変わったため、木の勢いが昔に比べて弱ってきました。

そこで、周辺の土壌改良を行い、根の成長を促すことで養分や水分の吸収を良くし、樹勢回復を図るものです。

具体的にはまず現在大楠が根を広げている周辺の土壌を掘削します。根が露わになるとそれを水で丁寧に洗浄します。洗浄後、根を観察すると周囲に玉垣を築く際に切断されてしまった箇所等が見つかりました。そうした傷ついた箇所を消毒します。また大楠は城井川の氾濫原にあるため、周囲に川原石をたくさん抱えており、観察していると石が根に食い込んだ箇所や石により根が伸びることができずに変な方向に曲がった箇所等が多数見られました。そのような石を可能な限り取り除き、そこに肥料をすき込んだ良質な土を入れます。あわせて「酸素管」と呼ばれる網目のついた管を根の

周囲に数か所埋め込みました。これは水や空気が根の周りに届きやすくするためのものです。

大楠は胸高周囲二十一m、樹高二十六mの巨木のため、根から吸収された水分や養分が枝葉の隅々まで行きわたりにくく、そのため葉を観察すると通常のクスの葉よりもひとまわり小さくなっていきます。

そこで周囲の土をフカフカにして根が成長しやすくし、あわせて水分や養分を吸収しやすくすることでそれらの症状を改善しようというものです。

今年度の樹勢回復事業も一段落しました。来年度はこの事業の最終年度で大楠を支える支柱の塗装や大楠全体の消毒をする予定です。

ここで皆さんにお願いがあります。最近、大楠に直接手を触れたいと周囲を囲む玉垣や木柵から内側に入る人が見られます。こうしたことをすると、土壌改良した部分が踏みつけられ、大楠の根に悪影響を及ぼします。

町のシンボル大楠を将来に渡って守っていくため、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

(ご見学の際は玉垣や木柵より外側からお願いします。)
(文化財保護係 馬場克幸)



▲根を洗浄し、傷付いた箇所は消毒します



▲酸素管を設置し、水や空気が根に届きやすくします



▲大楠の根の広がり (西側)

宇都宮氏歴史講座 (初級編)

いよいよ来年1月に大河ドラマ「軍師官兵衛」が始まります。その放映に先立ち、黒田官兵衛最大の宿敵(ライバル)“宇都宮鎮房”を生んだ豊前宇都宮氏400年の歴史をその時代背景や難解な歴史用語の解説にも触れながら、地元との関わりを中心に学ぶ、初心者向けの講座です。

第1回・2回は豊前宇都宮氏400年の歴史について、豊前宇都宮氏研究の第一人者「則松弘明先生」を講師に九州に来た経緯から黒田氏に滅ぼされるまでの歴史について学びました。第3回目は築上町内にある豊前宇都宮氏関連の史跡について写真等を見ながら、わかりやすく学びます。

スケジュール：第3回 1月26日(日)
10:00~

『(テーマ) 宇都宮氏と山城』

※なお、第4回では宇都宮氏関連の史跡を1日かけてバスで巡る現地研修会を予定しています。(3月予定)

第3回講座のお知らせ

会場：築上町コミュニティセンターソピア
講師：高尾 栄市

築上町教育委員会生涯学習課文化財保護係長。築上町内の豊前宇都宮氏関連の遺跡調査に携わる。共著に2013年11月刊行『中世宇都宮氏の世界 下野・豊前・伊予の時空を翔る』(彩流社)などがある。

受講料：無料

定員：60名(電話による事前申し込みが必要)

※開催日の1週間前までにお電話にて下記までお申込みください。なお締切日前に定員に達した場合はその時点で締め切らせていただきます。ご了承ください。第3回目だけの参加も可能です。ただし、第1回目から連続で参加されている方が優先となります。

申込・問い合わせ

船迫窯跡公園(52-3771) ※月曜日休館